

午後8時 佐呂間町若狭 横断中の2人はねられ1人死亡

車から降りた後、車の後ろ側から国道を横断しようとしてはねられた

◆路側帯に停車してる車両(バス・タクシー・子供の送り迎えの車)から◆

◆渡って来るかもしれない…、飛び出して来るかもしれない◆

2015年9月30日

29日午後8時15分ごろ、佐呂間町若狭の国道333号で近くに住む女性2人が乗用車にはねられた。無職の女性(84)が全身を強く打って搬送先の病院で死亡し、無職の女性(85)が腹部にけがを負った。遠軽署は、乗用車を運転していた警察官の男性容疑者(43)を自動車運転死傷処罰法違反(過失運転致死)の疑いで現行犯逮捕し、発表した。同署によると、現場は片側1車線の直線道路。はねられた女性2人は、知人の車から降りた後、車の後ろ側から国道を横断しようとしてはねられたらしい。容疑者は勤務中ではなかったという。

十勝管内 一斉取り締まり "重大死亡事故多発"

○「スピード」取り締まり

○「一時停止」取り締まり

大型スーパー付近、高齢歩行者の"危険横断"に注意!

十勝管内の労災事故 ⇨ "墜落・転落"が30%

十勝管内の労災事故 ⇨ "40歳~50歳台"の"ベテラン"が多い

「ヒヤリ」は、事故の「予兆!」
「安全確認」で、危険な「まさか…」を根絶!

○子供の飛び出しに要注意!

○スピードを落として、しっかり安全確認!

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認/よ~し!」

整備不良バス運行容疑 社長・整備管理者・運転手逮捕

◆3カ月点検を怠る◆

"バス同士の衝突事故"で、乗客15人にけがを負わせる

2015年9月29日(火)

静岡県で4月に発生した観光バス同士の衝突事故で、追突したバスが整備不良の状態であるのに運行して事故を引き起こしたとして、警察は29日、バスの運転手、社長、整備管理者の3人を自動車運転処罰法違反(過失傷害)や道交法違反(整備不良)の疑いで逮捕した。運転手の逮捕容疑は4月27日午後7時15分ごろ、バスのブレーキに不具合があることを知りながら運転し、交差点で事故を起こして乗客の観光客ら15人にけがを負わせた疑い。同社社長と整備管理者の逮捕容疑は同日、整備不良のバスを運行させた疑い。同署によると、3容疑者とも容疑を認めているという。追突したバスは事故直前にも別の追突事故を起こし、有料道路のインターチェンジ2カ所で料金所の停止位置をオーバーランしていた。同署が行ったバスの車両検分の結果、前輪のブレーキの利きが甘いことが判明。整備記録簿や同社の元従業員らへの聞き取りから、法律で義務付けられている3カ月ごとの点検を怠っていたことを確認し、社長と整備管理者の立件に踏み切った。

掘削現場に車が転落、作業員が死亡

2015/09/29

29日午前7時前、東京都にあるマンションの新築工事現場で、男性作業員が運転する軽ワンボックスカーが、深さ12メートルの掘削現場に転落しました。男性作業員はロープとはしごを使って救出され、病院に運ばれましたが、およそ1時間半後に死亡が確認されました。亡くなったのは65歳の男性とみられ、29日、初めてこの現場で作業をする予定だったということです。

道路脇から出てきた! ユニック車、市電と衝突 市電が脱線

2015/09/30

29日午後2時半ごろ、熊本県で市電と道路脇から出てきた、ユニック車が衝突し市電が脱線、道路をふさぎましたが、ケガ人はいませんでした。

交差点、右折車と直進バイクが衝突、バイクの男性死亡

2015年9月28日(月)

27日午後6時ごろ、福島県で、会社員男性(36)のバイクと会社員の男性(29)の乗用車が衝突した。バイクの男性は全身を強く打ち死亡した。バイクに同乗していた会社員の男性(43)が右足の骨を折る重傷。警察によると、現場は交差点。同署は直進してきたバイクと右折した乗用車がぶつかったとみている。